



会 長 多 賀 学 昭
副会長 川 上 幸 子
幹 事 坂 田 師 通

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

例会場 ホテル泉屋 2F

事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋1368-4
ホテル泉屋内 TEL・FAX 0983-21-1636

第 2347 回 令和 7 年 6 月 19 日プログラム

- | | |
|---------------|----------|
| 1. 点 鐘 | 7. BOX披露 |
| 2. ロータリーソング | 8. 委員会報告 |
| 我らの生業 | 9. 点 鐘 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 10. |
| 4. 会長の時間 | 11. |
| 5. 幹事報告 | |
| 6. 出席報告 | |

高鍋ロータリークラブテーマ

『共に語り、共に栄え、共に未来への種を蒔こう』

第 2730 地区ガバナー 笹 山 義 弘

中部グループガバナー補佐 戸 高 勝 利

RI 会長テーマ 『ロータリーのマジック』

第 2730 地区テーマ

『ロータリーのマジックで、ロータリーを楽しもう』

6 月の月間テーマ

ロータリー親睦月間

本日の例会案内

- *創立 50 周年に向けて 次年度の方針等
- *ポリオ BOX
- *例会終了後プログラム委員会 (次年度)

次週例会案内 6 月 26 日 (第 2348 回)

- *クラブ協議会 (前回の残り)
- *三役退任あいさつ
- *100 万ドルランチ BOX

第 2346 回 例会内容 (6/12)

□会長の時間

皆様今日は。本日も例会ご出席ありがとうございます。

さて今日は私の母のことをお話したいと思います。母は戦前台湾で生まれ、生後すぐに朝鮮光州市 (全羅南道) 郊外に移住してそこで育ちました。終戦の前年に光州女学校を卒業して小学校の代用教員をしていました

が、やがて日本が負けて内地に引き上げ、一家で川南町に入植し自分は宮崎無尽会社 (今の宮崎太陽銀行の前々身) 都農支店に勤めていたそうです。子どもの私の口から言うのも変ですがなかなか頭の良い人で、通信教育で幼稚園教師の資格を取ったりオルガンを独学で練習して幼稚園の子供たちに歌を歌わせたり、勉強家でした。ただ医者ぎらいで、東洋医学を信奉して自分で食養生の研究をしたりして、晩年は特にプルーンに入れあげていました。65 歳ぐらいからお腹の痛みがあったようですが、なかなか病院に行かず、娘たちからさんざん言われてやっと崎浜胃腸科で診察を受けたところ末期のガンで、もう身体のあちこちに転移していることがわかりました。

会長 多賀 学昭 君



当時はまだガンの告知は一般的でない時代でしたので、「あまりたちの良くない腫瘍があちこちで来ているから今のうちに除去した方が良い。」と説得して宮崎県立病院に入院させてもらい、1 か月後に手術していただきました。その時の執刀医は私たちの同級生の岩村君 (高鍋湿原で有名な岩村進先生の息子) でしたが、手術は 7 時間以上かかり、夜診察室に岩村君が母の臓器一式手提げ袋に入れて持ってきて「多賀君、見える限りの腫瘍は全部取ったよ。でも身体の裏側までは分からなかった。もし裏の方に転移していたらあと 1 年持つかどうかというところだね。」と言いました。2 か月後に県立病院を退院し、自宅での療養が始まりましたが、相変わらずの頑固さで医者の治療は拒否します。手術は平成 10 年の 8 月でしたが、翌年の春先からみるみるうちに痩せ細って骸骨のようなご面相になりました。ある日すぐ下の妹から電話がかかってきて「何とか母を説得して入院させて。いよいよになったらどこも受け入れてくれんよ。あんた最愛の息子さんじゃろ。なんとかして頂戴。」との懇願です。

そこで高鍋の圓福寺まで行って (当時はまだ川南の円光寺にいたので) 母に「お母さん、病院に入院して治療を受けたらどうね。このまま弱っていよいよ危なくなったらこの病院も受け入れてくれんよ。今入院して点滴を受ければ体力が回復して病氣と闘う力も戻ってくると思うがね。」と説得を試みましたが「プルーンがあれば自然の点滴になる。病院で点滴を受けたら自分の体ではなくなる。入院はいや。点滴はいや。」の一点張りです。私も

とうとう業を煮やして「そんならどうすると。あんた、いよいよの時はこのお寺で死ぬつもりか。」と問い詰めましたら、私の顔を睨みつけて「ワタシャ死なん！」と怒鳴りつけました。それを聞いて私も「ああ、これはもうここで死なせるしかない。」と覚悟を決めた次第です。それからしばらく後、5月の連休後でしたが午後母の容態が変わったと連絡がきて妻や子供たちは圓福寺へ駆けつけました。私は法事の勤めがあって留守していましたが、法事を終えて帰宅するとすぐ妻から母が危篤だと連絡がありました。圓福寺に着くと既に親戚が大勢来てくれていました。主治医の崎浜先生と看護師さんも見えて次の間で控えて下さっております。母は舌で喉を塞がないよう横向きに寝かされておりましたが、息が乱れて苦しそうでした。みんなが母の手足をさすりながら「おばあちゃん頑張っ
て!」「洋子ちゃん、頑張るのよ!」と声をかけてくれます。だんだん母の息が間遠になり、みんなが「がんばれ!がんばれ!」と声を懸けながら数十分すぎたとき、私はずいぶん迷いましたが到頭「お母さん!もう頑張らんでもいいが。もう生きるのも死ぬのも仏様におまかせしてお念仏して頂戴よ!」と言いました。そして母の枕もとで『臨終行儀』と呼ばれる作法を始めました。臨終の病人はもう一息に「ナムアマダブ」と唱えることはできないので、吐く息ごとに周りから「なーむ」、「あーみ」、「だーぶ」と一息ごとに助勢するのです。私が母の息に合わせて「なーむ」、「あーみ」、「だーぶ」、と唱え始めると、親戚の者も一緒に唱えてくれました。いちばん下の妹が母のすぐ枕元に座っておりましたが、「あらっ、お母さん偉いのね。お母さんちゃんとお念仏してるのね。」と泣きながら言うのです。見てみると声こそ出ませんが母の口が確かに「なーむ」「あーみ」「だーぶ」と動いておりました。ガンの人は最後まで頭はしっかりしていると言うのが本当なのですね。こうしてみんなでお念仏すること約30分。母は息を引き取りました。崎浜先生に最後を看取っていただき、玄関から門の外までお送りしながら「先生、わがままな患者で本当にご迷惑をおかけしました。ありがとうございました。」とご挨拶しましたら先生が「皆さんと一緒に
お念仏しながら旅立って行かれて良いご最期だったのではないですか。私にとっても忘れられない思い出になりました。」と言ってくださいました。

母はきっと仏様のお浄土へ旅立ってくれたと安心して
おります。ご清聴ありがとうございました。

□幹事報告<文書案内>
*第2730地区ロータリー財
団補助金管理セミナー
(ZOOM)開催のお知らせ
日時 2025年7月27日
10:00~11:45
(欠席のクラブは補助金申
請ができません)

幹事 坂田 師通 君



□クラブ協議会 (年間報告)

○会計

正会計 甲斐 宏昌 君

副会計 岩本 正志 君

■活動計画

- ①会費の完納については6月が年度の締切りであり、未納者に対して周知、徴収にてほぼ完納
- ②予算計画に基づく適切な収支管理についても6月末決算になる為、最終の収支決算未確認。
- ③適時、適切な予算の報告は事務局任せになっていた事に対して次年度への引継ぎ項目とする。

■まとめ

- ①事務局の負担低減に対して、月始め例会前の会費の徴収並びに各懇親会等の会費徴収を積極的に行った。
- ②予算管理及び執行については、会長幹事並びに事務局に動いて頂いた面が多くなってしまった。



○出席委員会

委員長 児玉 幸則 君

ロータリアンの3大義務のひとつ例会への出席を促すために、「ウエルカム スマイル」で皆さまをお迎えし、計画に基づいた活動を行って参りました。皆さまのご協力のおかげで、5月までの累計実績では、目標としている85%を若干上回る85.16%となっております。誠にありがとうございます。これは皆さ
ま一人ひとりが大変お忙しい中でも、例会への出席に加えて、奉仕活動や炉辺会合、地区大会などへも参加していただき、メイクアップも増やして頂いたおかげだと思います。欠席の連絡についても電話に加えて、LINEの活用で事前連絡も徹底が図れてきております。ただ、前年度の出席率が86.46%ですので、前年度を上回る目標までは約1%届いておりません。今月の例会の出席で目標を達成したいと思っ
ていますので、最後までご協力をお願いします。

一年間ありがとうございました。



○クラブ会報委員会

副委員長 岡部 由紀子 君

関委員長より預かりの原稿

1年間活動方針のもと活動計画どおりに運営されました。

私が例会に出席できないことが多くあり、岡部さんに迷惑ばかりかけていたことばかりが思い出されます。この委員会メンバーが行うことは撮影のみであり、ほとんどは財津さんの構成力が主となっております。女性お二人にたくさんお世話になりましたことをただただ感謝いたします。



○クラブ活性計画・危機管理委員会

委員長 藤本 範行 君

今年度から「クラブ戦略計画」の名称を「クラブ活性化計画」と改称しました。

創立 49 周年目の今年度は、創立 50 周年記念大会に向けて高鍋 RC 長期戦略計画委員会の指導の下、50 周年記念実行役員会や企画委員会で記念事業の大筋を検討して、実行委員会がスムーズに進められるように企画立案をしています。



イ) 記念式典・祝賀会の開催日時・・・2027. 4 月 18 日
(土曜日) 17 時～20 時半

ロ) 会場 ホテル四季亭 1F～2F (大広間) 米沢上杉 RC との交流会 (SORA の間)

ハ) 実行委員会の役員のメンバー変更について、
会計委員長 (中武泰一郎→児玉幸則)
友好クラブ委員長 (岩切洋→ 未定)



正 SAA 長谷川修身君



プログラム委員長
後藤正弘君



親睦活動委員長
高橋康朗君



クラブ研修委員長
長濱 博君

○職業奉仕委員会

委員長 岩切 一浩 君

○活動方針

会長のクラブ運営の基本方針に基づきつつ、奉仕の理想の原点に立ち返り、職業奉仕の実践を行う。

- ・奉仕の理想の原点に立ち返ることができ様々な職業奉仕の実践を行うことができた



○活動計画

- ①地域の職場訪問の企画し実施する。
 - ・高鍋町のママンマルシェ様に訪問することができ、有意義な職場訪問となった。
- ②社会奉仕委員会と共同でロータリー公園清掃を行う
 - ・多くの会員に参加していただき、ロータリー公園の清掃を行うことができた。
- ③職業奉仕を実践されている人に対し内外卓話を行ってもらうため人選をしプログラム委員会へ推薦する
 - ・プログラム委員会において意見を言う機会があったものの、人選を推薦するまではできなかった。



会員増強選考分類委員長
阿多美千代君



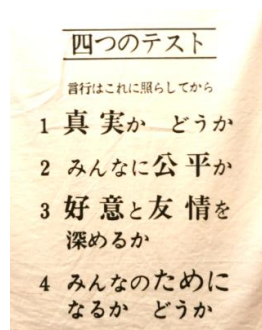
社会奉仕副委員長
野添勝久君

□BOX披露

親睦活動委員長 高橋 康朗 君

<ニコニコ・財団・米山 BOX>

【多賀学昭君】苦悩から脳炎を起こし、余りの痛さに七転八倒しましたが、何とか回復しつつあります。感謝の祈りを込めて。 クラブ協議会宜しく願います。



本日のソング曲



ソングリーダー 川上幸子君

□出状況席報告 (6/12)

委員長 児玉 幸則 君

会 員 数	39 名
出席 会 員 数	30 名
ホー ム 出 席 率	78.95%



テーブルの花



本日の食事